



《赤絵丸紋茶盃》1935 - 40年頃



《琉球窯赤絵面取鉢》1969年頃



《掛合指描花瓶》1950 - 57年頃



《炭焼柳目鉢》1969年頃



《塩釉蓋付小壺》



《柿釉赤絵皿》



《白釉黒流描面取花瓶》1960年代



《鉄絵花瓶》1970年頃

濱田庄司(1894~1978)は、益子の土と伝統釉を基調としながら、多種多様な手法による器を残しています。釉薬を柄杓で勢いよく施す流掛、手先で器表をなぞって釉薬の模様をつける指描などの技法を駆使し、土と釉が絶妙に調和した作品を数多く手がけました。また自身が訪ねた土地からもやきものの着想を得ており、沖縄で目にした植物に触発されて創案した藜文は、濱田が愛用したトレードマークとしてよく知られています。本展では、濱田の器にみられるモチーフや模様、技法に着目し、当館で初公開となる新収蔵約20点を含む、所蔵作品約60点を一堂に展覧します。豪放な大作から愛らしい小品まで、濱田のやきものに一貫するやわらかな風合いと飾らない美しさ、そこに秘められた濱田の創意工夫をお楽しみください。

展示解説

5月14日(日)、6月24日(土)、7月17日(月・祝)
各回14時~(30分程度) 予約不要、要観覧券

次回展示

企画展「うつわのガラスが物語ること 船木倭帆と濱田能生」
7月23日(日)~10月1日(日) ※内容は変更になる場合がございます。

Address

益子陶芸美術館 / 陶芸メッセ・益子
Mashiko Museum of Ceramic Art

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3021
TEL.0285-72-7555
<http://www.mashiko-museum.jp>



益子陶芸美術館
Mashiko Museum of Ceramic Art



@mashiko_museum

交通：【バス】東武宇都宮駅、JR宇都宮駅西口14番バス乗り場から東野バス益子行、または秋葉原駅より茨城交通高速バス「関東やきものライナー」笠間・益子行、陶芸メッセ入口下車徒歩2分。【JR】小山駅から水戸線下館駅下車、下館駅から真岡鐵道益子駅下車徒歩25分。【自動車】常磐自動車道友部JCT経由、北関東自動車道桜川筑西ICから20分。東北自動車道栃木都賀JCT経由、北関東自動車道真岡ICから25分。

